

# 市長が行く

No.155

## 今回の能登半島地震対応について

茂原市長 田中豊彦



正月早々に能登半島を襲った地震は、能登半島全体を揺るがす巨大地震でした。

連日報道される惨状に、胸を痛めた方も多かったことと思います。茂原市も度重なる水害に見舞われたこともあり、人ごとではありません。何かできることはないかという焦りを感じながら、また平穏な毎日を送れることは当たり前ではないということ、改めてかみしめた日々でした。

そして、5日の時点で、市内のオートウイルさんのご厚意で、暖房・温水洗浄付きの水洗トイレを搭載したトイレトレーラーを2台派遣できることになりました。そのトイレラーは、茂原七夕まつりでも活躍したもので、1台で延べ2500回分の使用が可能です。現地が使われている非常用のトイレは、簡易トイレのようなもので、寒くて狭くて使いづらく、使用を控え

る人も多かったようで、一番困っていることと思われました。

しかし、出発した時点で、道路の状況もよく分からず、一般の車両はまだ通行止めで支援先も決まっています。取った結果、珠洲市へ向かうよう指示がありました。途中かなり道路事情が悪く、パンクして放置された車がたくさんある中、あちこちに亀裂の入った道路をやっと通り、20時間もかかって、やっと到着したそうです。7日14時に1カ所目の設置場所、宝立小中学校に設置し、その後、もう1台は緑丘みどりがおか中学校に設置いたしました。その日の内からたくさんさんの避難者に利用されています。これは、オートウイルさんのご厚意（全てボランティア）でできたことで、なかなかできないことだと思います。

先日、オートウイルの飯田社長が一時戻ってこられましたので、現地の様子や、今必要としているものはないかを確認し、茂原市で備蓄しているウレタンマット（以前、三井化学さんから寄付されたものを含む）エアーマット、消毒液、大喜ガスさんから寄付されたカセットコンロ、ボンベ、合同資源さんから寄付された使い捨てカイロ等を積み、第2便として持つていってもらうことになりました。

まだまだいつまで続くかわからない状況ですが、できる限り支援をしていきたいと思っております。茂原市も水害の時には、全国から支援をいただいているのですから。しかしその水害で、市の財政調整基金もかなり目減りしてはいるので、頭を使いながら、皆さんからの寄付が頼りの支援とはなりますが、頑張ります。